

いつ、どこに、どれくらいの雪が降るのでしょうか？

～ その① 大雪に関する早期天候情報 ～

1 はじめに

平年では10月の中旬から下旬に八甲田山と岩木山の初冠雪が観測され、その後、11月には平地でも初霜・初氷・初雪が観測されます。本格的な雪のシーズンの到来は間もなくです。

気象台では、大雪が予想されるときに、時間経過と大雪の可能性の高まりに応じて、段階的に各種情報(表1)を公表します。今号の話題では、気象庁が発表する雪の予想のうち、2週間から1週間前に大雪の可能性をお知らせする「大雪に関する早期天候情報」を紹介します。

また、次号以降では、大雪となる期間が近づいてくると気象台が発表する情報を順番に紹介していく予定です。

表1 気象台が発表する雪の予想情報

	発表の時期	名称
①	大雪の2週間から1週間前	大雪に関する早期天候情報
②	大雪の5日前から当日	早期注意情報(警報級の可能性)
③	大雪の前日から当日	予告的な大雪に関する青森県気象情報
④		天気分布予報(降雪量)
⑤	大雪の前日から当日	降雪量予想
⑥	大雪の6時間から3時間前	大雪警報・大雪注意報

2 早期天候情報

「早期天候情報」は、10年に1度程度しか起きないような著しい高温や低温、降雪量(冬季の日本海側)となる可能性がいつもより高まっているときに、6日前までに注意を呼びかける情報です。6日先から14日先までの期間で、5日間平均気温が「かなり高い」「かなり低い」となる確率が30%以上、または5日間降雪量が「かなり多い」となる確率が30%以上と見込まれる場合に発表します。

「低温と大雪に関する早期天候情報」は、おおむね1週間から2週間先に顕著な低温や大雪となる可能性があるときに、低温や大雪になる可能性の高い時期を発表します。

実際に、昨年(令和2年)12月中旬と12月末から今年1月初めは、青森県では低温や大雪となりました。この期間に対して、気象庁では12月中旬の1週間程度前の12月7、10日に2回の「低温と大雪に関する早期天候情報」を発表しました。また、12月末から1月初

めに対しては、12月17,21,24,28,31日に合計5回の「低温と大雪に関する早期天候情報」を公表しました。

12月7日に発表した早期天候情報は以下の通りです。12月14日頃から気温がかなり低くなり、降雪量も平年よりかなり多くなる可能性があるとして予想していました。

【12月7日に発表した早期天候情報】

低温と大雪に関する早期天候情報（東北地方）

令和2年12月7日14時30分

仙台管区气象台 発表

東北地方 12月14日頃から かなりの低温

かなりの低温の基準：5日平均地域気温平年差－2.6℃以下

東北地方の気温は、向こう1週間程度は平年並か高いですが、その後は冬型の気圧配置となり、寒気の影響を受けやすくなるため、14日頃からは平年よりかなり低くなる可能性があります。また、東北日本海側では降雪量が平年よりかなり多くなる可能性があります。

農作物の管理等に注意するとともに、除雪などの対応に留意してください。今後の気象情報に留意してください。

<参考>

この期間の主な地点の5日間降雪量の平年値は、以下のとおりです。

地点	平年値
青森	27センチ
秋田	14センチ
山形	14センチ
若松	14センチ

表2に2020年12月に発表した早期天候情報の一覧を、また、図1には青森の日降雪量と早期天候情報の対象となった期間を示します。例として示した12月7日に発表した早期天候情報で予測されていた通り、14日頃から20日頃にかけて、青森では日降雪量が10cm以上の日が続くなど大雪となりました。

その後の早期天候情報によって大雪となると予想された時期についても、青森で降雪量が多くなっています。

表2 2020年12月から1月の低温と大雪に関する早期天候情報の発表状況

発表日	対象期間	現象
12月7日	12月14日頃から	低温と大雪
12月10日	12月16日頃から	低温と大雪
12月17日	12月27日頃から	低温と大雪
12月21日	12月29日頃から	低温と大雪
12月24日	12月30日頃から	低温と大雪
12月28日	1月3日頃から	低温と大雪
12月31日	1月7日頃から	低温と大雪

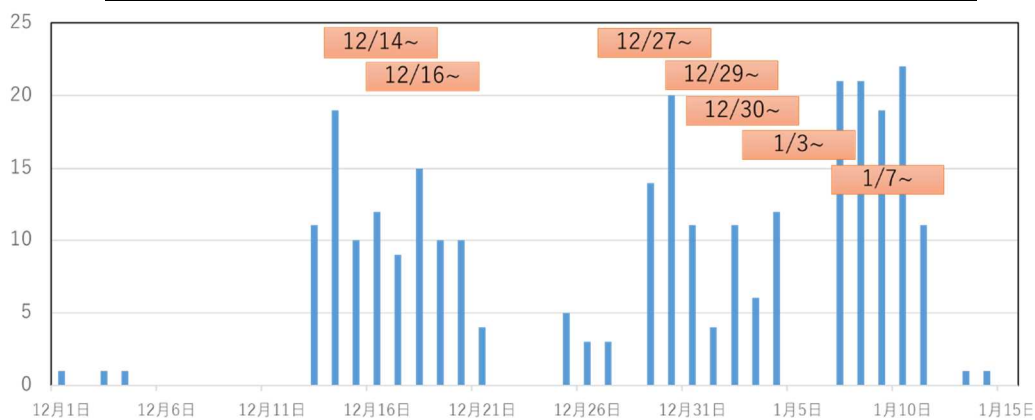


図1 青森の日降雪量(青色の縦棒, 単位 cm)と早期天候情報の対象期間(茶色長方形)
(2020年12月から2021年1月15日)

3 どのような対策を行うと良いか

大雪に関する早期天候情報が発表されたときは、1週間から2週間先に大雪となる可能性が高まっています。大雪に備えて事前の準備を行うことが有効です。どのような対応を行うと、実際に大雪となった時に対応がスムーズに進むのか、それぞれの立場で考えてみてください。

個人のできる対策としては、雪のシーズンの始まりであれば、除雪機器や道具の点検を行うことが有効とされます(大雪になった直後は、ホームセンターで雪かきスコップが売り切れになることもあります)。既に雪が多く積もっている状態では、今後の除雪の準備だけではなく、これまでに積もった雪を排雪しておく、必要があれば屋根の雪下ろしを行う、といった対策も有効とされます。

企業などの対策としては、個人での対策に加えて、除雪や排雪などの作業に対応する人員や機材を確保しておく、ということも必要となります。

ほかにも、食べ物や燃料を普段よりも多く購入し、買い物の機会を減らしておく、外出しなくても済むように予定を組み替える、といった対策も有効とされます。

4 まとめ

大雪に関する早期天候情報は、1週間から2週間先の大雪の可能性をお知らせします。事前に対策をとることで、効果的に大雪に備えるために、早期天候情報を有効にご利用ください。

なお、気象庁ホームページで早期天候情報は、以下のリンク先から閲覧が可能です。

東北地方の早期天候情報：https://www.data.jma.go.jp/cpd/souten/?reg_no=15

(この原稿の作成 観測予報管理官 安藤)



国土交通省 気象庁 青森地方气象台
〒030-0966 青森市花園一丁目17番19号
電話017-741-7411



気象庁ホームページ：<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>
青森地方气象台ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/aomori/>